

人権に関する意識調査

概要版

平成 23 年 2 月



彩の国 埼玉県

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法	1
3 回収結果	1
4 報告書の見方	1
5 回答者の基本属性	1

II 調査の結果

1 人権全般に対する意識	2
2 女性の人権	7
3 子どもの人権	9
4 高齢者の人権	11
5 障害者の人権	13
6 同和問題	15
7 アイヌの人々の人権	18
8 外国人の人権	19
9 HIV感染者・ハンセン病患者等の人権	20
10 犯罪被害者やその家族の人権	20
11 刑を終えて出所した人の人権	21
12 インターネットによる人権問題	21
13 性同一性障害者、性的指向の異なる人の人権問題	22
14 拉致問題	23
15 ホームレスの人権問題	23
16 プライバシーに関する人権問題	24
17 埼玉県の人権に関する取組	25

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、人権問題に関する県民の意識についての現状を把握し、人権が尊重される社会の実現をめざした施策を推進するための基礎資料とすることを目的として実施しました。

2 調査の方法

- (1) 調査地域……埼玉県全域、165 地点（1 地点あたり 19 人程度）
- (2) 調査対象……県内在住の満 20 歳以上の男女 3,000 人
- (3) 抽出方法……住民基本台帳等に基づく層化二段無作為抽出
- (4) 調査方法……訪問による調査票配布、訪問回収若しくは郵送回収
- (5) 調査期間……平成 22 年 11 月 25 日（木）～平成 23 年 1 月 14 日（金）

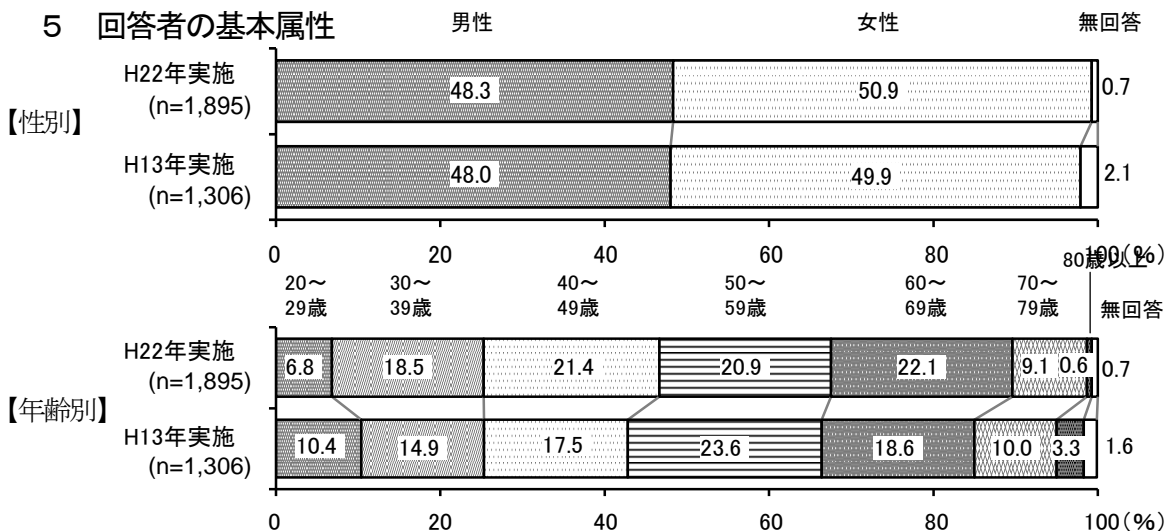
3 回収結果

調査票送付人数	有効回収人数	有効回収率
(人)	(人)	(%)
3, 0 0 0	1, 8 9 5	6 3. 2

4 報告書の見方

- ア 集計は小数第 2 位を四捨五入して算出したので、回答率を合計しても 100%にならず、1%の範囲で増減することがあります。
- イ n (Number of Cases の略) は比率算出の基数であり、100%が何人の回答者数に相当するかを示しています。
- ウ 回答の比率 (%) は、その設問の回答者数を基数nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100%を超えることがあります。
- エ 平成 13 年に実施した調査と設問の内容が同じで選択肢が同じ（又は類似している）場合には、今回の調査結果と比較して示しています。

5 回答者の基本属性



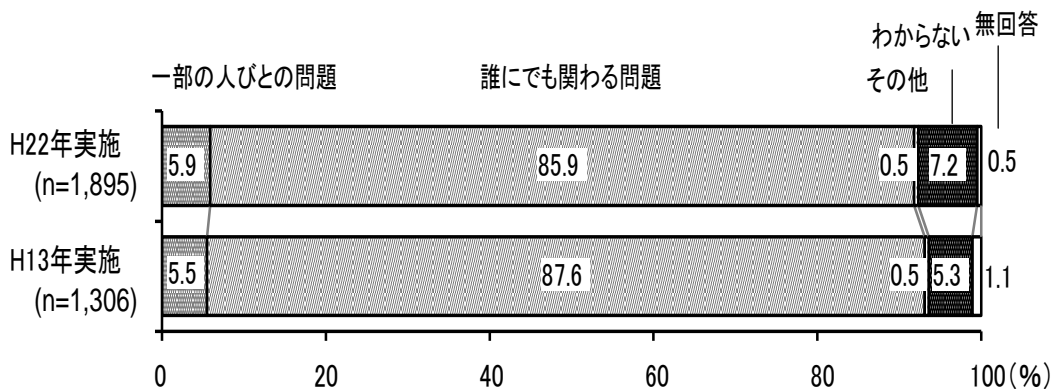
II 調査の結果

1 人権全般に対する意識

問1. あなたは、人権や人権問題についてどのような印象をお持ちですか。(○は1つ)

【県全域／前回との比較】

人権や人権問題についての印象は、「誰にでも関わる問題」が85.9%で最も高く、「一部の人の問題」は5.9%となっている。平成13年に実施した前回調査と比較して、大きな変化はみられない。

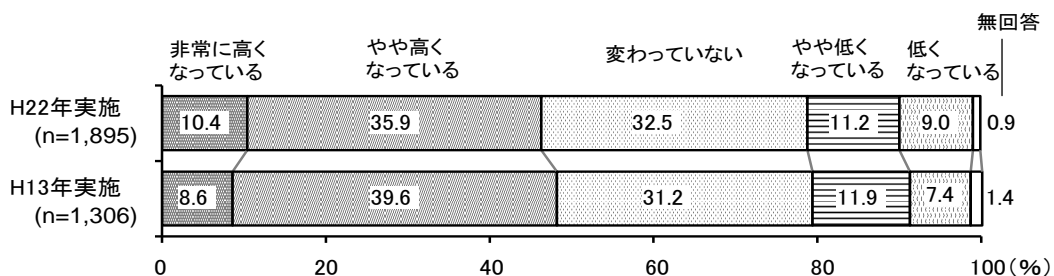


問2. あなたは、国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて高くなっていると思いますか。(○は1つ)

【県全域／前回との比較】

国民一人ひとりの人権尊重の意識は、10年前に比べて「やや高くなっている」が35.9%で最も高く、次いで、「変わっていない」が32.5%となっている。『高くなっている（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）』は46.3%となっている。

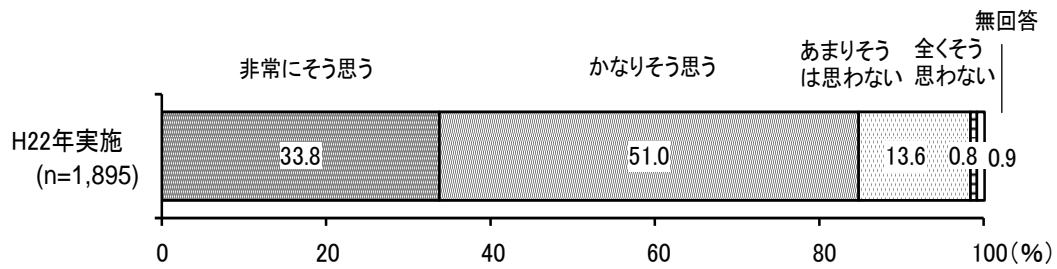
前回調査と比較して、『高くなっている』の割合に大きな変化はみられない。



問3. 「人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見について、あなたは、どう思いますか。(〇は1つ)

【県全域】

他人の迷惑を考えない人が増えてきたとの意見について、「かなりそう思う」が51.0%で最も高く、次いで、「非常にそう思う」が33.8%と続いている。『そう思う（「非常にそう思う」と「かなりそう思う」の合計）』は84.8%となっている。

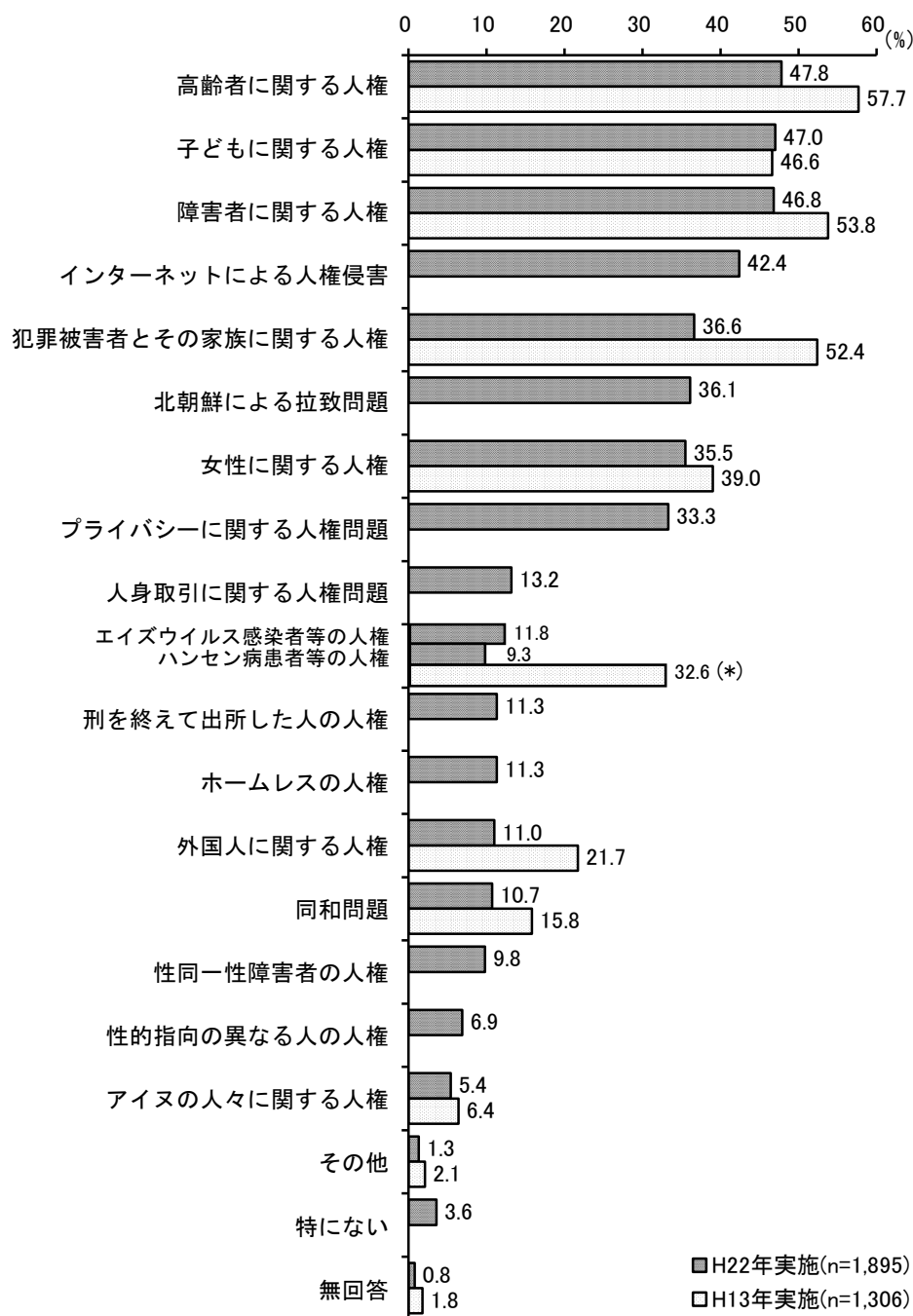


問4. 今の日本の社会に様々な人権問題がありますが、あなたに関心のあるものはどれですか。

(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

関心のある人権問題は、「高齢者に関する人権」が47.8%で最も高く、次いで、「子どもに関する人権」が47.0%、「障害者に関する人権」が46.8%、「インターネットによる人権侵害」が42.4%と続いている。前回調査と比較して、「犯罪被害者とその家族に関する人権」(52.4%→36.6%)が15.8ポイント、「外国人に関する人権」(21.7%→11.0%)が10.7ポイント減少している。

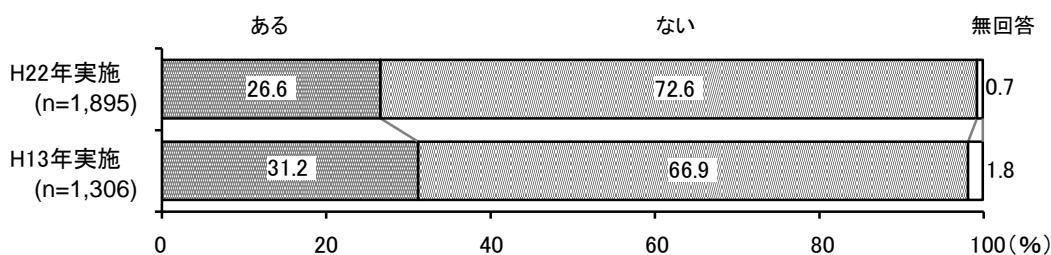


(*) H13年は「エイズやハンセン病等の問題」

問5. あなたは、日常生活の中で、あなた自身、またはあなたの周りの人（家族・友人など）の人権が侵害されたと感じたことがありますか。（○は1つ）

【県全域／前回との比較】

自分自身または周りの人の人権が侵害されたと感じた経験は、「ある」が 26.6%、「ない」が 72.6%となっている。前回調査と比較すると、「ある」(31.2%→26.6%)が 4.6 ポイント減少し、「ない」(66.9%→72.6%)が 5.7 ポイント増加している。

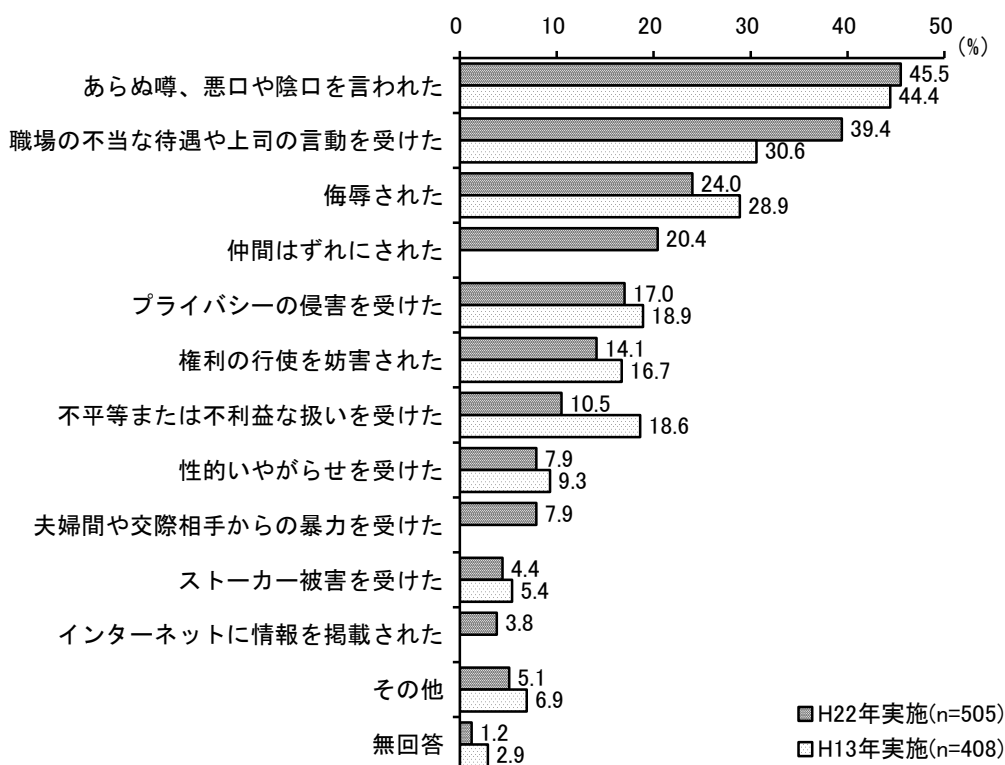


【問5で、「ある」とお答えの方に引き続きおたずねします。】

問5-1 それはどのような内容ですか。（該当するものすべてに○）

【県全域／前回との比較】

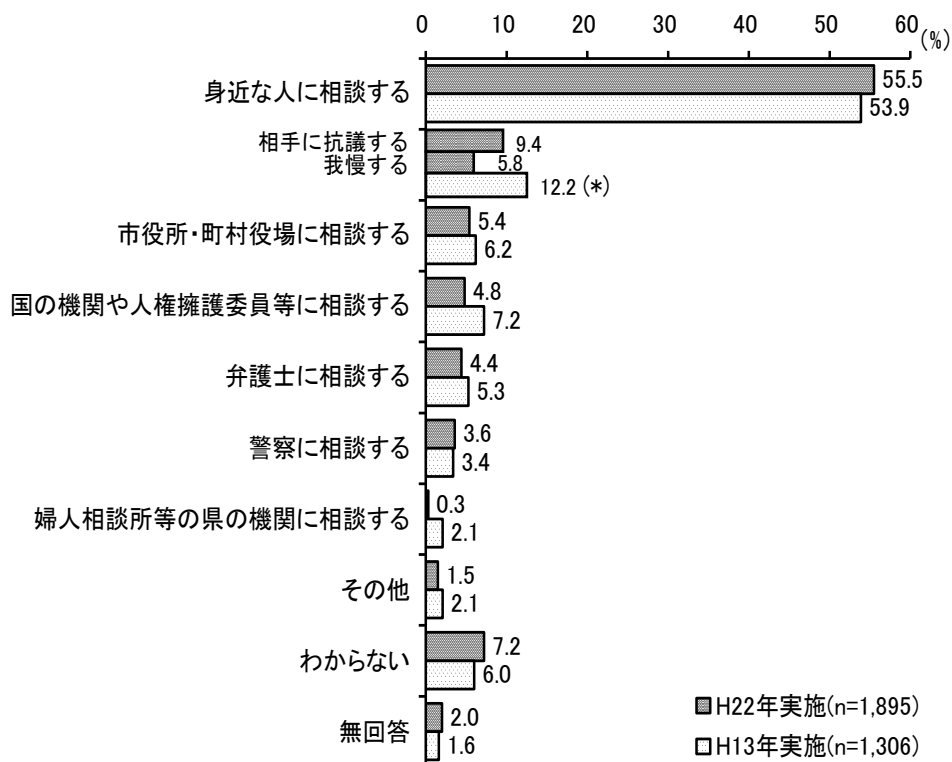
人権が侵害されたと感じた経験のある 505 人に内容を聞いたところ、「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が 45.5%と最も高く、次いで、「職場において、不当な待遇や上司の言動を受けた」が 39.4%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が 24.0%と続いている。前回調査と比較すると、「職場の不当な待遇や上司の言動を受けた」(30.6%→39.4%)が 8.8 ポイント高くなっている。



問6. もし、あなたが、ご自身の人権を侵害されたと感じた場合、まず、どのような対応をしますか。(〇は1つ)

【県全域／前回との比較】

人権が侵害された場合の対応は、「友人・家族等の身近な人に相談する」が55.5%で最も高く、次いで、「相手に抗議する」が9.4%、「我慢する」が5.8%となっている。前回調査と比較して、相談相手や対応に大きな変化はみられない。



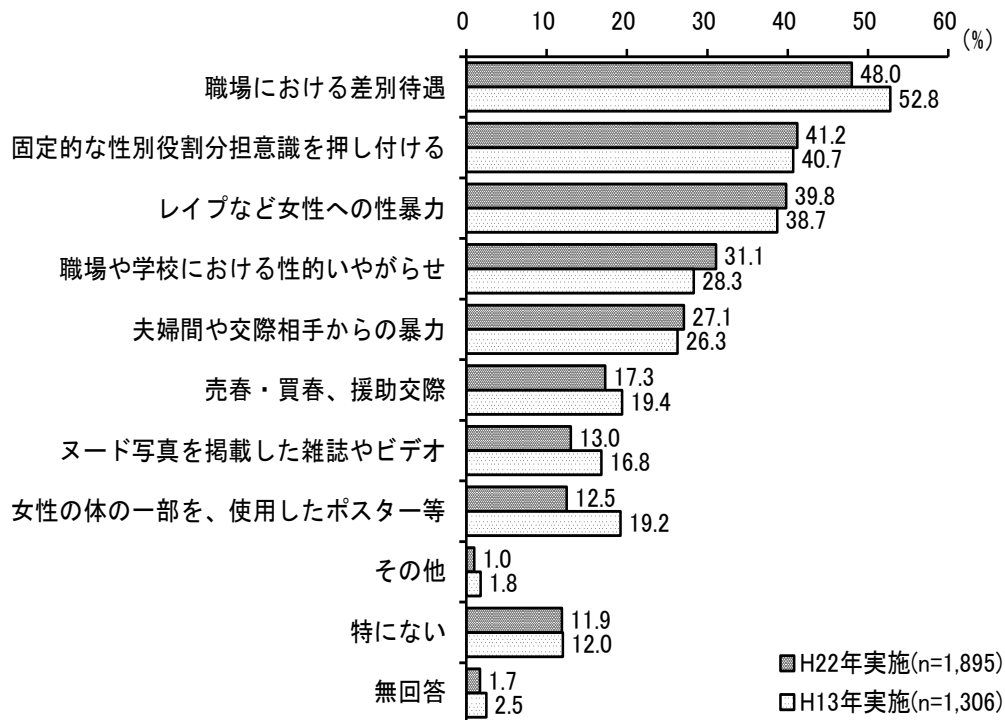
(*)H13年は「自分で処理する」

2 女性の人権

問7. あなたは、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのような行為に対してですか。
(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

女性の人権が尊重されていないと感じる行為は、「職場における差別待遇」が48.0%で最も高く、次いで、「男女の固定的な性別役割分担意識を押し付けること」が41.2%、「レイプ（強姦）など女性への性暴力」が39.8%と続いている。前回調査と比較して大きな変化はみられない。

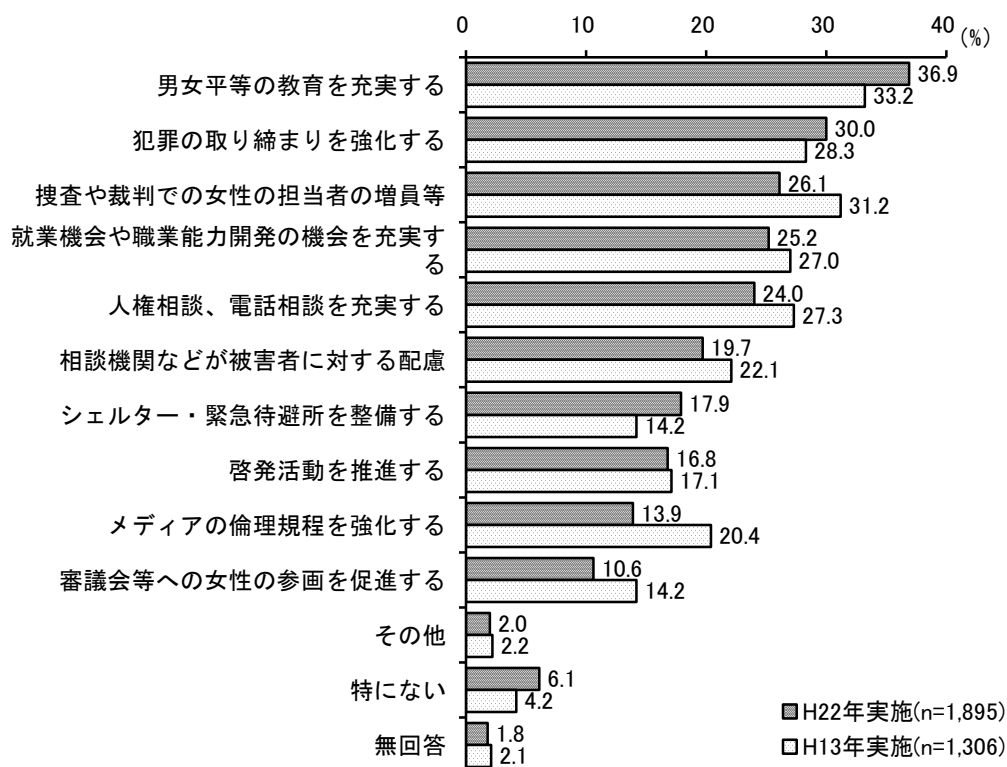


問8. あなたは、女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

女性の人権を守るために必要なこととして、「男女平等や性についての教育を充実する」が36.9%で最も高く、次いで、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が30.0%と続いている。前回調査と比較すると、「メディアの倫理規程を強化する」(20.4%→13.9%)が6.5ポイント減少している。



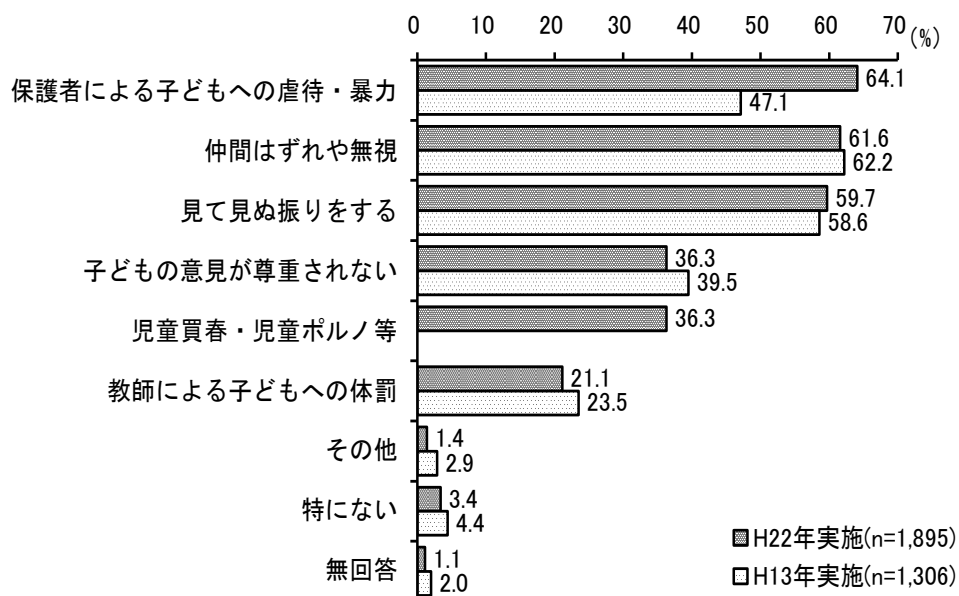
3 子どもの人権

問9. あなたは、子どもの人権が尊重されていないと感じるのはどのような状況に対してですか。

(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

子どもの人権が尊重されていないと感じる状況は、「保護者による子どもへの虐待・暴力」が64.1%で最も高く、次いで、「仲間はずれや無視、身体への直接攻撃や相手が嫌がることをしたりさせたりする」が61.6%、「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬ振りをする」が59.7%と続いている。前回調査と比較すると、「保護者による子どもへの虐待・暴力」(47.1%→64.7%)が17.0ポイント増加している。

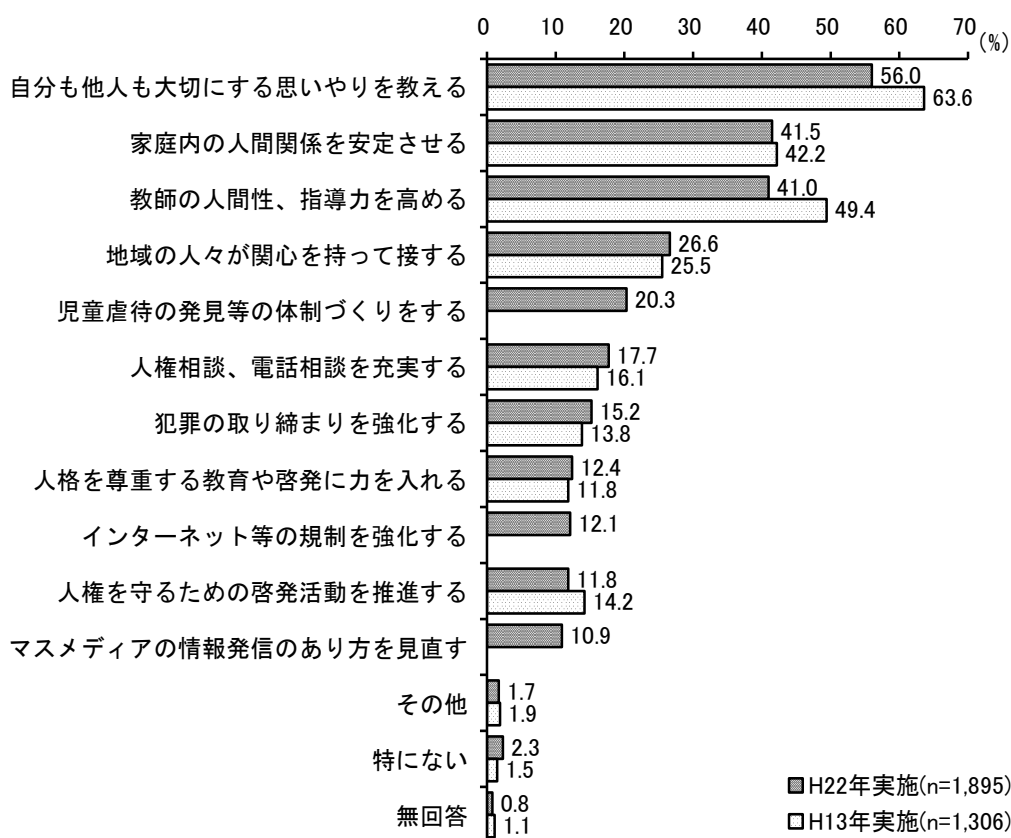


問10. あなたは、子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

子どもの人権を守るために必要なこととして、「子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える」が56.0%で最も高く、次いで、「家庭内の人間関係を安定させる」が41.5%「教師の人間性、指導力を高める」が41.0%と続いている。前回調査と比較すると、「教師の人間性、指導力を高める」(49.4%→41.0%)が8.4ポイント、「自分も他人も大切にする思いやりを教える」(63.6%→56.0%)が7.6ポイント減少している。

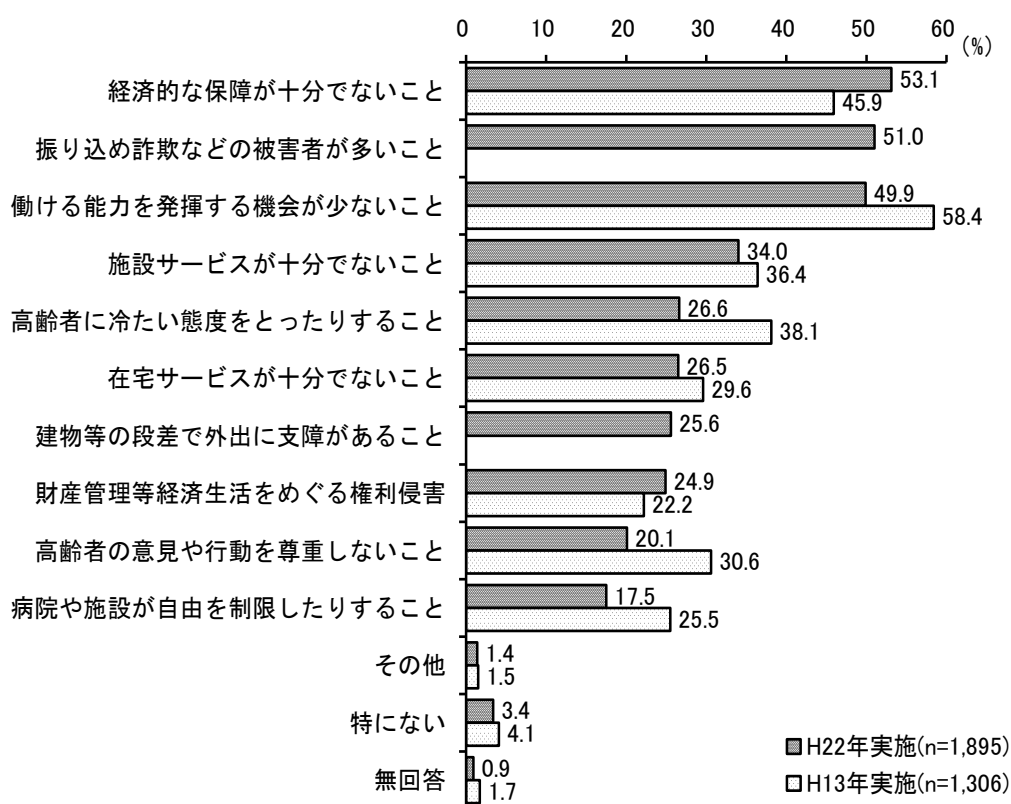


4 高齢者の人権

問11. あなたは、高齢者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

高齢者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的な保障が十分でないこと」が53.1%で最も高く、次いで、「悪徳商法や振り込め詐欺などの被害者が多いこと」が51.0%、「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」が49.9%と続いている。

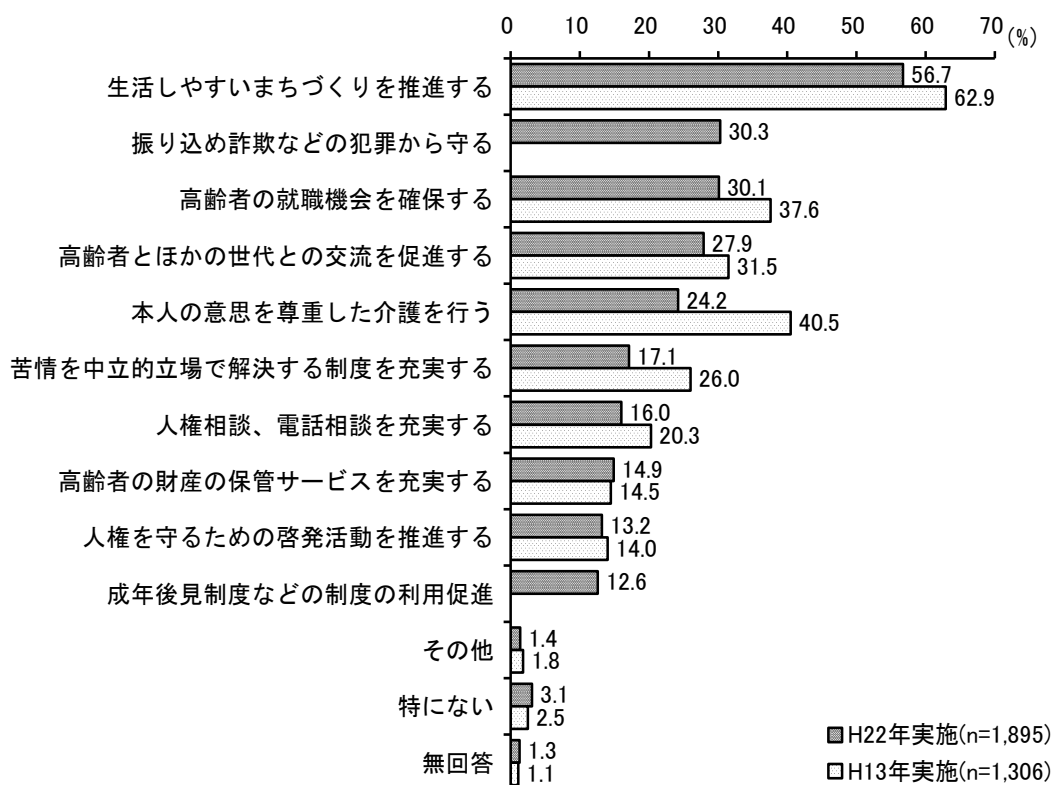


問12. あなたは、高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

高齢者の人権を守るために必要なこととして、「高齢者が自立して生活しやすいまちづくりを推進する」が56.7%で最も高く、次いで、「悪徳商法や振り込め詐欺などの犯罪から高齢者を守る」が30.3%、「高齢者の就職機会を確保する」が30.1%と続いている。前回調査と比較すると、「本人の意思を尊重した介護を行う」(40.5%→24.2%)が16.3ポイント減少している。

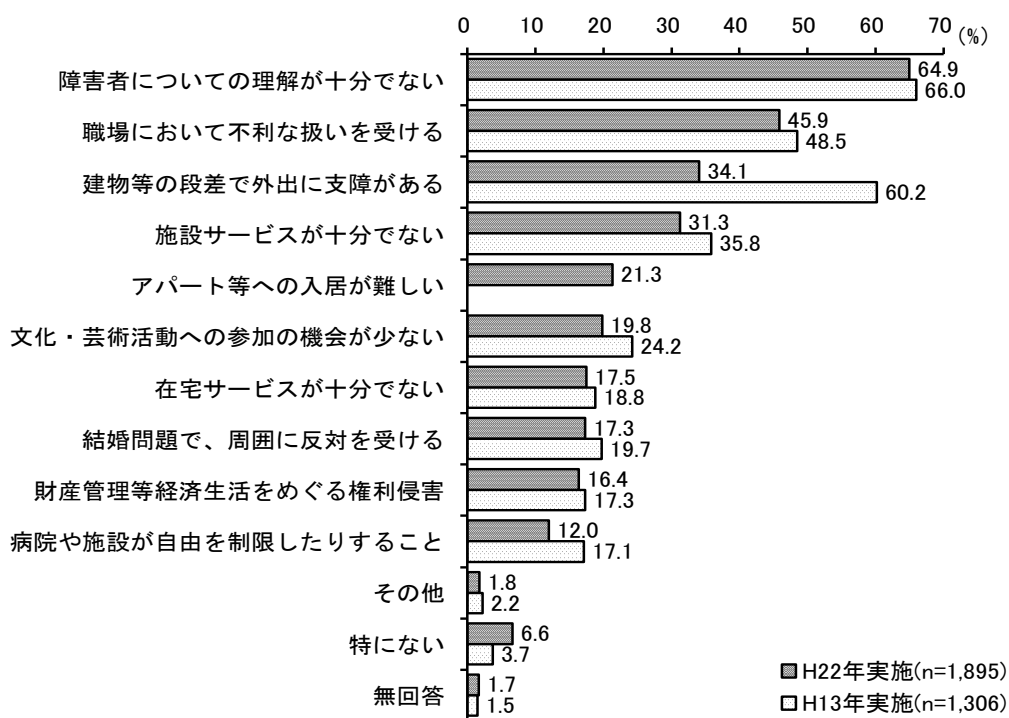


5 障害者の人権

問13. あなたは、障害者の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。
(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

障害者の人権が尊重されていないと感じる状況は、「障害または障害者についての理解が十分でない」が64.9%で最も高く、次いで、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が45.9%、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障がある」が34.1%と続いている。前回調査と比較すると、「建物等の段差で外出に支障がある」(60.2%→34.1%)が26.1ポイント減少している。

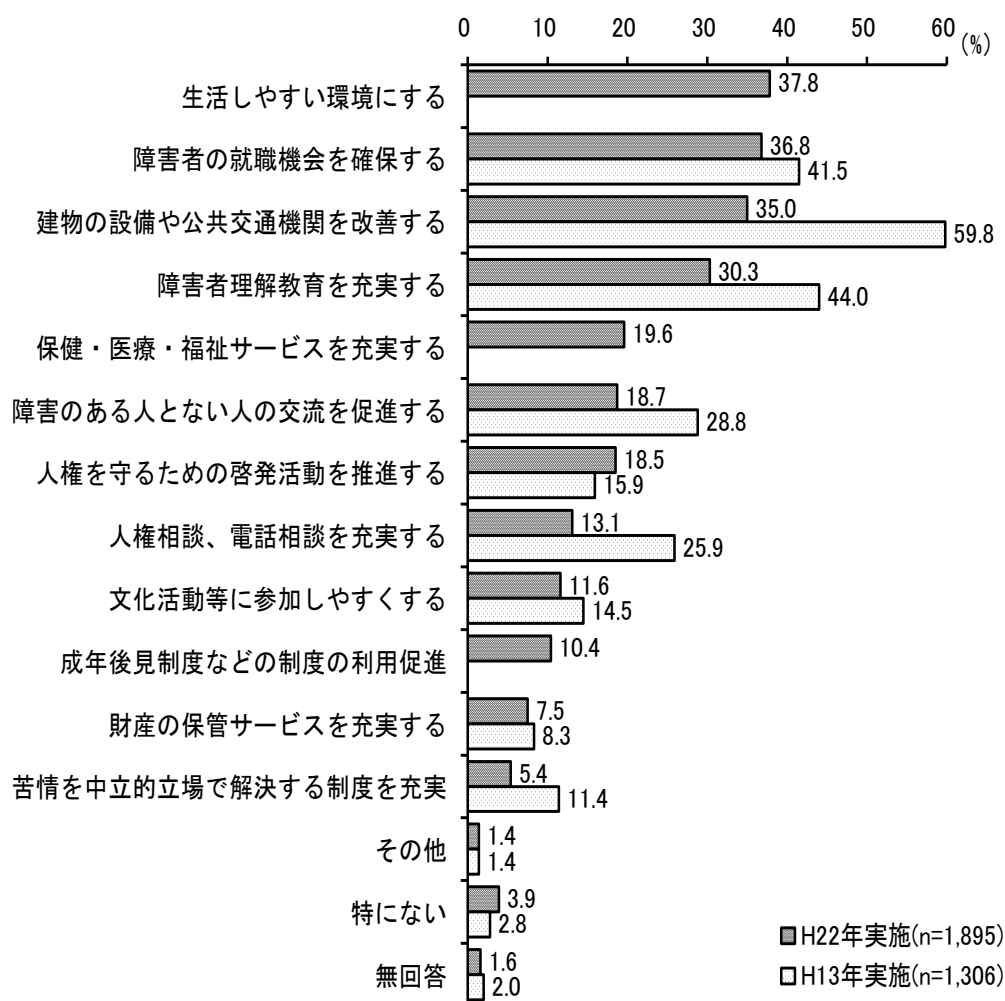


問14. あなたは、障害者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

【県全域／前回との比較】

障害者の人権を守るために必要なこととして、「自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする」が37.8%で最も高く、次いで、「障害者の就職機会を確保する」が36.8%、「障害のある人が安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が35.0%、「学校教育の中で、障害者理解教育を充実する」が30.3%と続いている。前回調査と比較すると、「建物の設備や公共交通機関を改善する」(59.8%→35.0%)が24.8ポイント減少している。

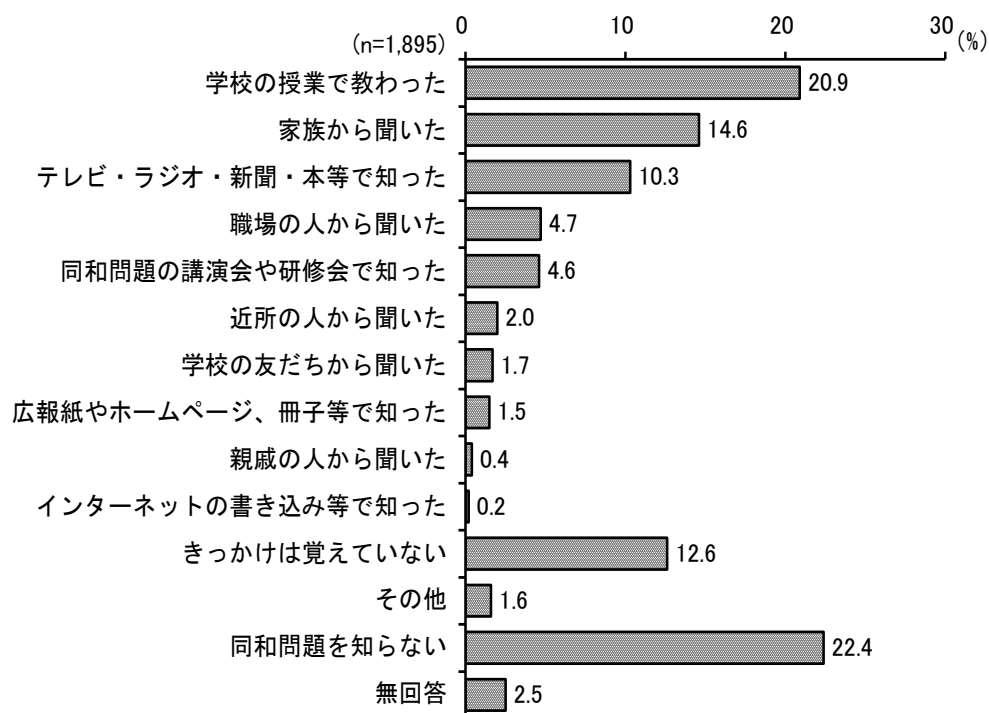


6 同和問題

問15. あなたは、同和問題について、初めて知ったきっかけは、何からですか。(〇は1つ)

【県全域】

同和問題について、初めて知ったきっかけは、「学校の授業で教わった」が20.9%で最も高く、次いで、「家族（祖父母、父母、兄弟等）から聞いた」が14.6%、「テレビ・ラジオ・新聞・本等で知った」が10.3%と続いている。また、「同和問題を知らない」は22.4%であった。



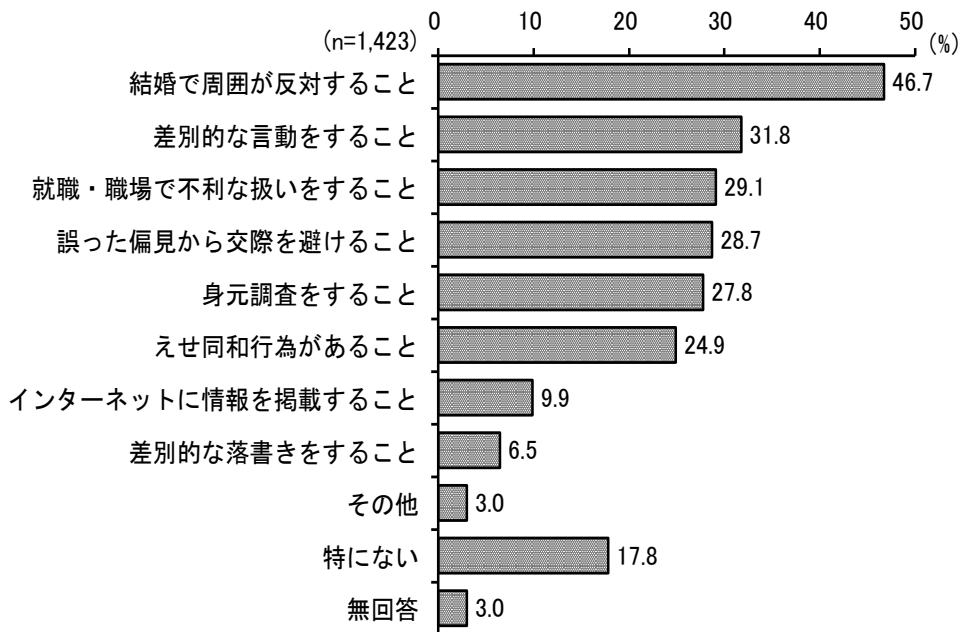
【問15で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問15-1 あなたは同和問題に関し、現在、どのような問題が起きていると思いますか。

(該当するものすべてに○)

【県全域】

同和問題を知っている1,423人に起きている問題を聞いたところ、「結婚で周囲が反対すること」が46.7%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が31.8%、「就職・職場で不利な扱いをすること」が29.1%、「誤った偏見から交際を避けること」が28.7%、「身元調査をすること」が27.8%と続いている。

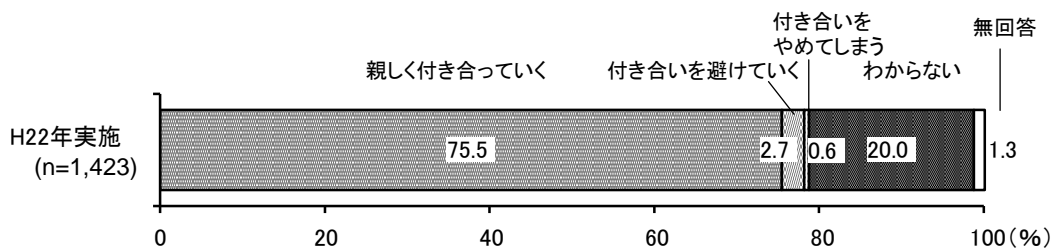


【問15で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問15-2 仮にあなたが親しく付き合っていた人（職場の人や近所の人）が「同和地区」出身の人であるとわかった場合、どうすると思いますか。（○は1つ）

【県全域】

同和問題を知っている1,423人に親しく付き合っていた人が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「これまでと同じように親しく付き合っていく」が最も高く75.5%となっている。

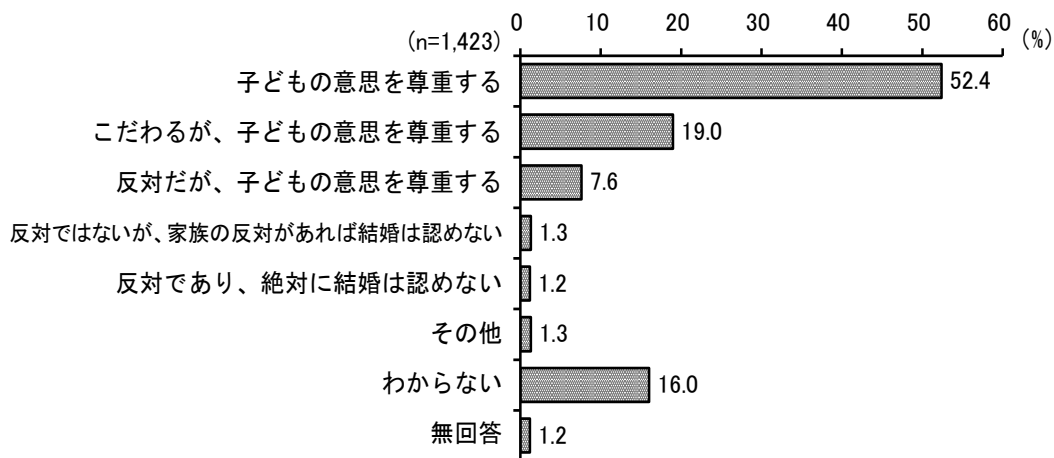


【問15で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問15-3 あなたに未婚のお子さんがいるとして、そのお子さんの結婚相手が「同和地区」出身であるとわかった場合、あなたはどのように思いますか。(〇は1つ)

【県全域】

同和問題を知っている1,423人に自分の子どもの結婚相手が同和地区出身者だった場合の対応を聞いたところ、「子どもの意思を尊重する」が52.4%で最も高くなっている。「ややこだわりがあるが、子どもの意思を尊重する」(19.0%)と合わせると、71.4%の人が子どもの意思を尊重するとの意見であった。一方、「わからない」は16.0%となっている。

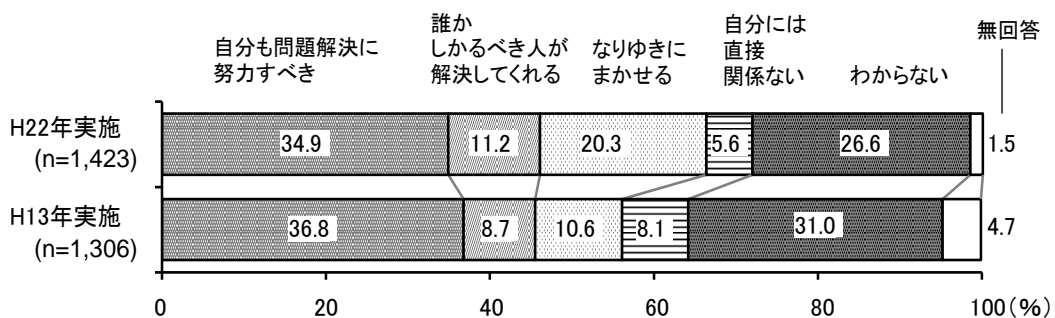


【問15で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問16. 同和問題の解決に対して、あなたはどのように考えますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(〇は1つ)

【県全域/前回との比較】

同和問題を知っている1,423人に同和問題の解決方法を聞いたところ、「基本的人権に関わる問題だから、自分もこの問題の解決に努力すべきだと思う」が34.9%で最も高く、次いで、「自分ではどうしようもない問題だから、なりゆきにまかせるよりしかたがないと思う」が20.3%と続いている。一方、「わからない」は26.6%となっている。前回調査と比較すると、「なりゆきにまかせる」(10.6%→20.3%)が9.7ポイント増加している

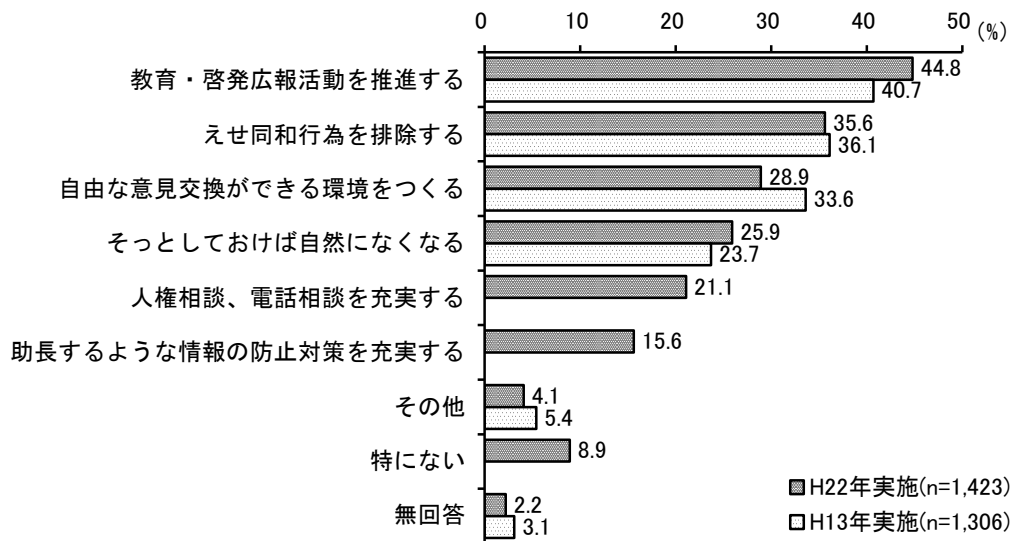


【問15で「同和問題を知らない」以外を回答した人に対して】

問17. あなたは、同和問題を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○は3つまで)

【県全域／前回との比較】

同和問題を知っている 1,423 人に同和問題の解決のために必要なことを聞いたところ、「同和問題を解決するための教育・啓発広報活動を推進する」が 44.8%で最も高くなっている。次いで、「えせ同和行為を排除する」が 35.6%、「同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる」が 28.9%、「同和地区のことや差別のことも口に出さずに、そっとしておけば自然になくなる」が 25.9%と続いている。

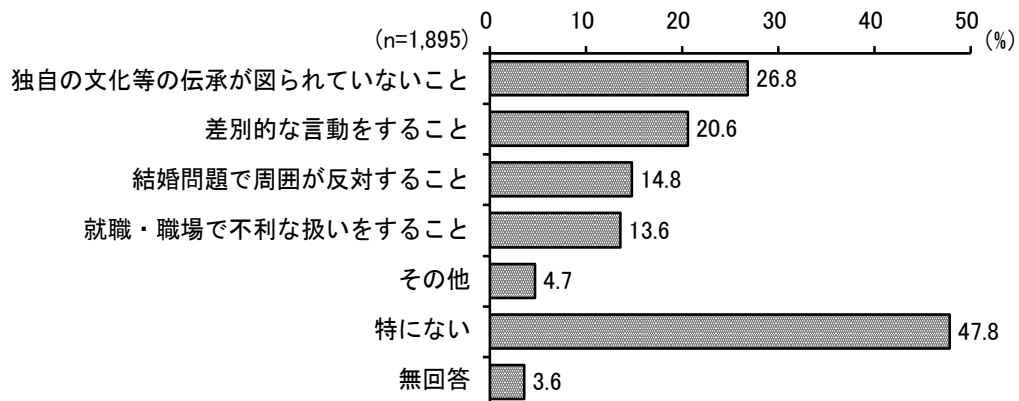


7 アイヌの人々の人権

問18. あなたは、アイヌの人々に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

アイヌの人々の人権が尊重されていないと感じる状況は、「独自の文化や伝統の保存、伝承が図られていないこと」が 26.8%で最も高くなっている。一方、「特にない」が 47.8%となっている。

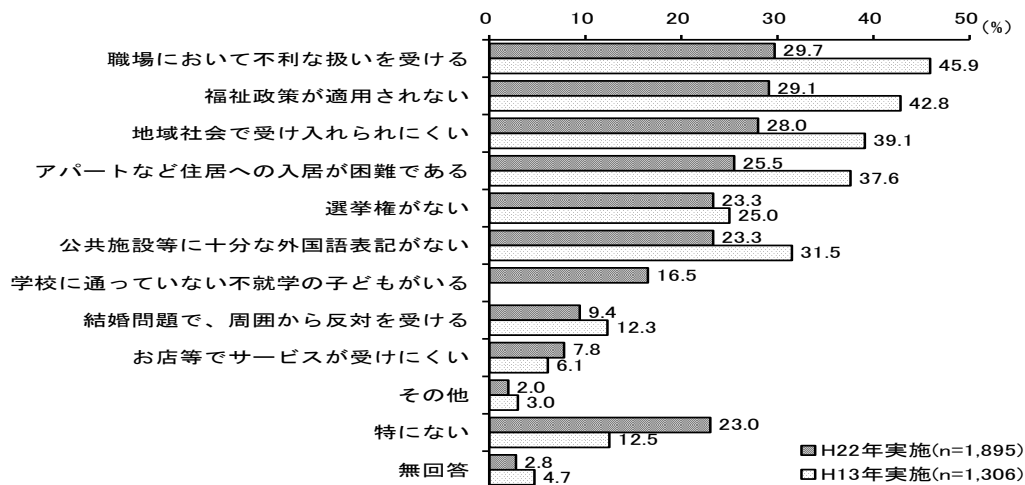


8 外国人の人権

問19. あなたは、日本に住む外国人の人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

外国人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「就職活動や職場において不利な扱いを受ける」が29.7%で高くなっている。次いで、「年金や医療保険制度などの福祉政策が日本人と同じように適用されない」が29.1%、「習慣等が異なるため、地域社会で受け入れられにくい」が28.0%と続いている。前回調査と比較すると、減少している項目が多い。

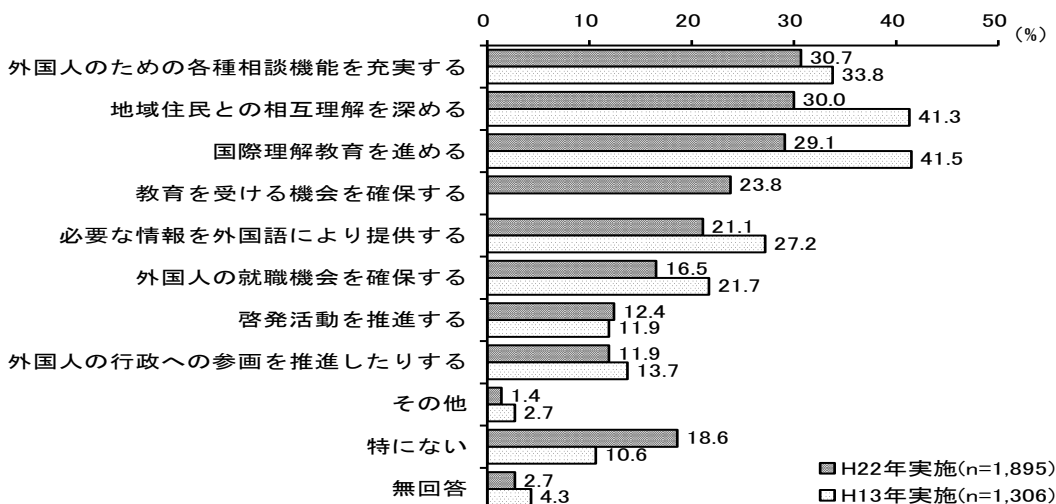


問20. あなたは、外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○は3つまで)

【県全域／前回との比較】

外国人の人権を守るために必要なこととして、「外国人のための各種相談機能を充実する」が30.7%で高く、次いで、「外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が30.0%、「外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める」が29.1%と続いている。前回調査と比較して、「国際理解教育を進める」(41.5%→29.1%)が12.4ポイント、「地域住民との相互理解を深める」(41.3%→30.0%)が11.3ポイント減少している。

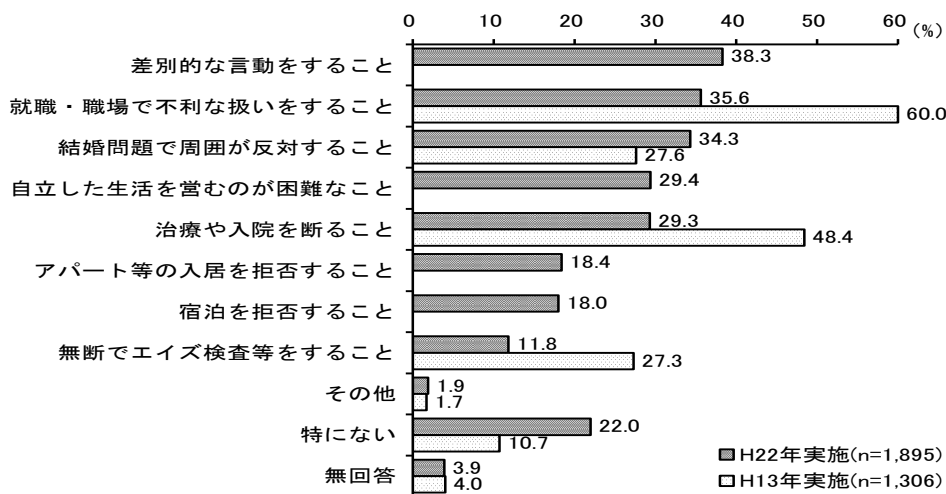


9 HIV 感染者・ハンセン病患者等の人権

問2 1. あなたは、HIV 感染者・ハンセン病患者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域／前回との比較】

HIV 感染者・ハンセン病患者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「差別的な言動をすること」が38.3%で最も高く、次いで、「就職・職場で不利な扱いをすること」が35.6%、「結婚問題で周囲が反対すること」が34.3%と続いている。前回調査と比較すると、「就職・職場で不利な扱いをすること」(60.0%→35.6%)、「無断でエイズ検査等を行うこと」(27.3%→11.8%)、「治療や入院を断ること」(48.4%→29.3%)が大きく減少している。

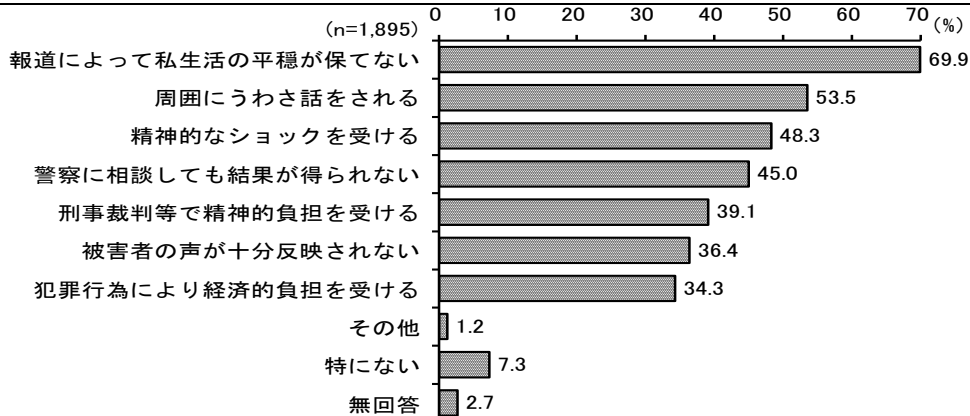


10 犯罪被害者やその家族の人権

問2 2. あなたは、犯罪被害者等に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

犯罪被害者等の人権が尊重されていないと感じる状況は、「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が69.9%で最も高く、次いで、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が53.5%、「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が48.3%の順となっている。

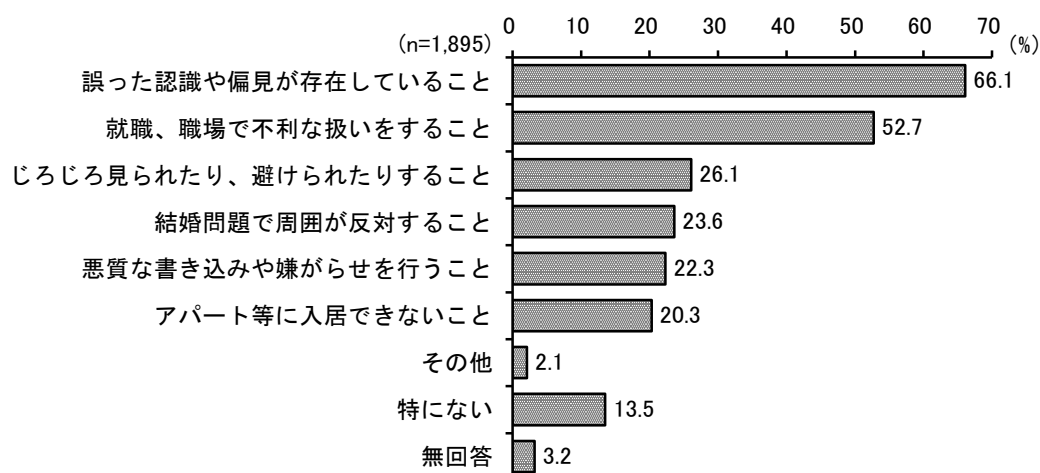


1.1 刑を終えて出所した人の人権

問23. あなたは、罪や非行を犯した人が、罪をつぐなって社会の一員として立ち直ろうとした場合、どのような問題があると思いますか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

罪や非行を犯した人が社会の一員として立ち直ろうとした場合の問題は、「更生した人たちに対する誤った認識や偏見が存在していること」が66.1%で最も高く、次いで、「就職、職場で不利な扱いをすること」が52.7%の順となっている。

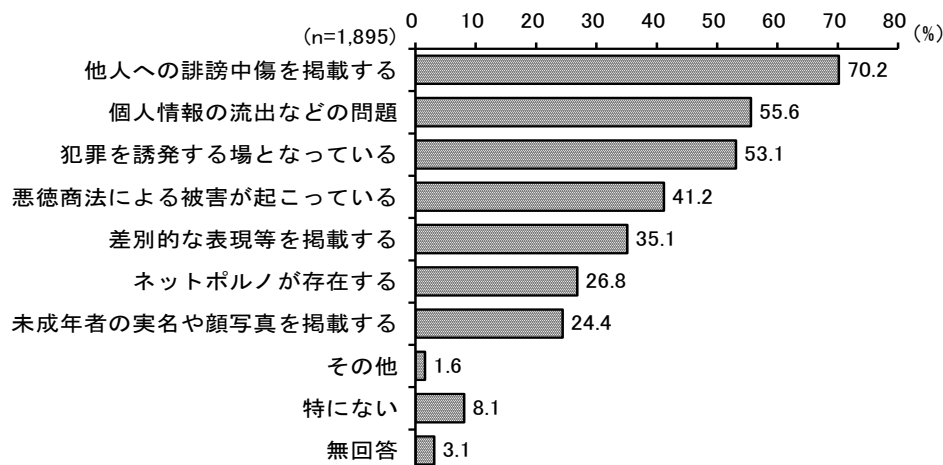


1.2 インターネットによる人権問題

問24. あなたは、インターネット上での人権侵害に関して、現在、どのような問題が起きていると思いますか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

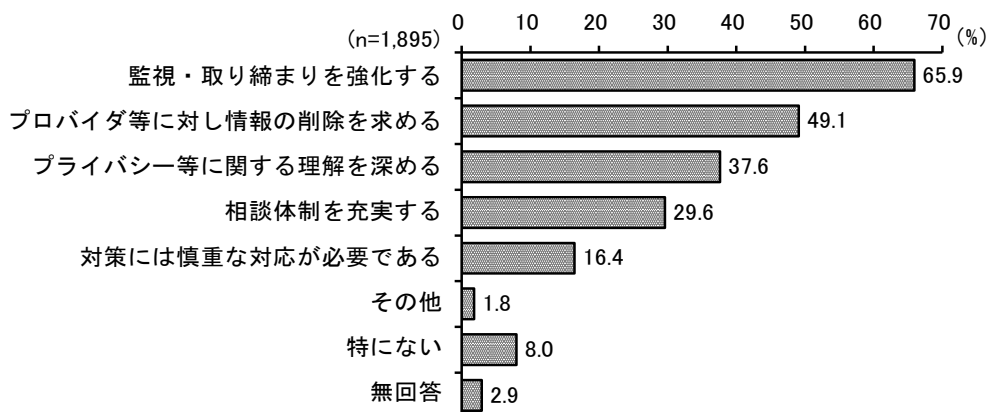
インターネット上での人権侵害に関する問題は、「他人への誹謗中傷（ひどい悪口）を掲載する」が70.2%と最も高くなっている。次いで、「個人情報の流出などの問題が多く発生している」が55.6%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっている」が53.1%と続いている。



問25. あなたは、インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

【県全域】

インターネット上の人権を守るために必要なこととして、「違法な情報発信者に対する監視・取り締まりを強化する」が65.9%で最も高く、次いで、「プロバイダ（インターネット接続業者）等に対し人権を侵害する情報の削除を求める」が49.1%、「利用者やプロバイダ（インターネット接続業者）などに対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深める」が37.6%と続いている。

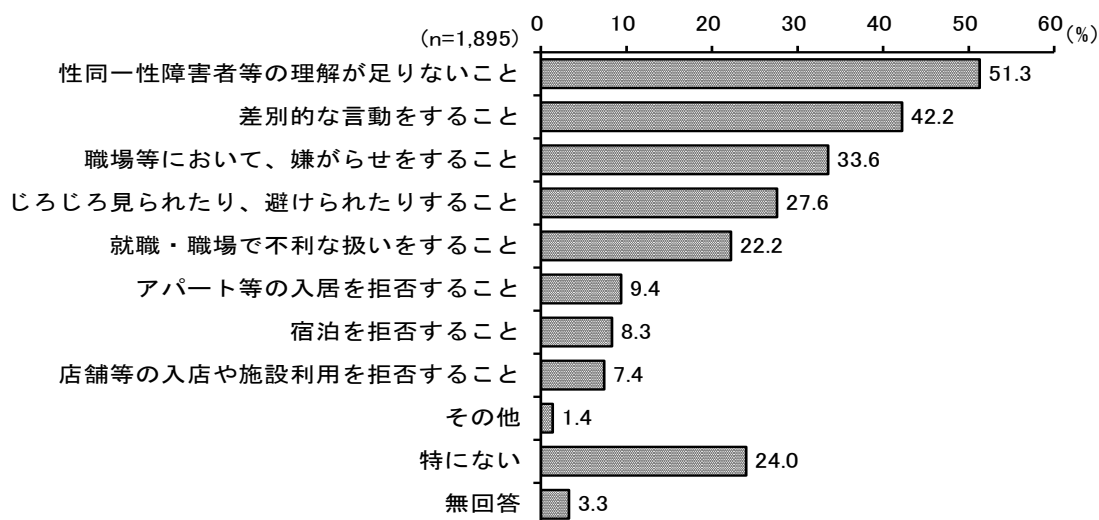


1.3 性同一性障害者、性的指向の異なる人の人権問題

問26. あなたは、性同一性障害者（生物学的な性「からだの性」と性の自己認識「こころの性」が一致しない人）や性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人に関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。（該当するものすべてに〇）

【県全域】

性同一性障害者や性的指向の異なる人の人権が尊重されていないと感じる状況は、「性同一性障害者や性的指向の異なる人に対する理解が足りないこと」が51.3%で最も高く、次いで、「差別的な言動をすること」が42.2%、「職場、学校において、嫌がらせをすること」が33.6%の順となっている。また、「特になし」が24.0%であった。

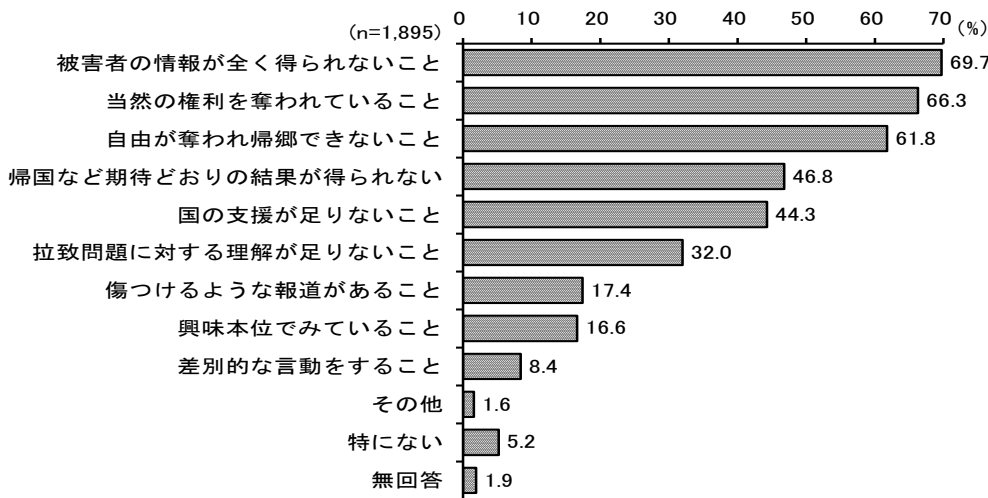


1.4 拉致問題

問27. あなたは、北朝鮮当局によって拉致された被害者等に関し、現在、どのような人権問題が起きていると思いますか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

北朝鮮当局によって拉致された被害者等の人権上問題と思うものを聞いたところ、「未帰還の拉致被害者の家族にとって、被害者の生死などの情報が全く得られないこと」が69.7%と最も高く、次いで、「拉致被害者及びその家族は一緒に生活するという当然の権利を奪われていること」が66.3%、「拉致被害者は、身体や居住移転の自由が奪われ帰郷できないこと」が61.8%で、いずれも60%を超えている。

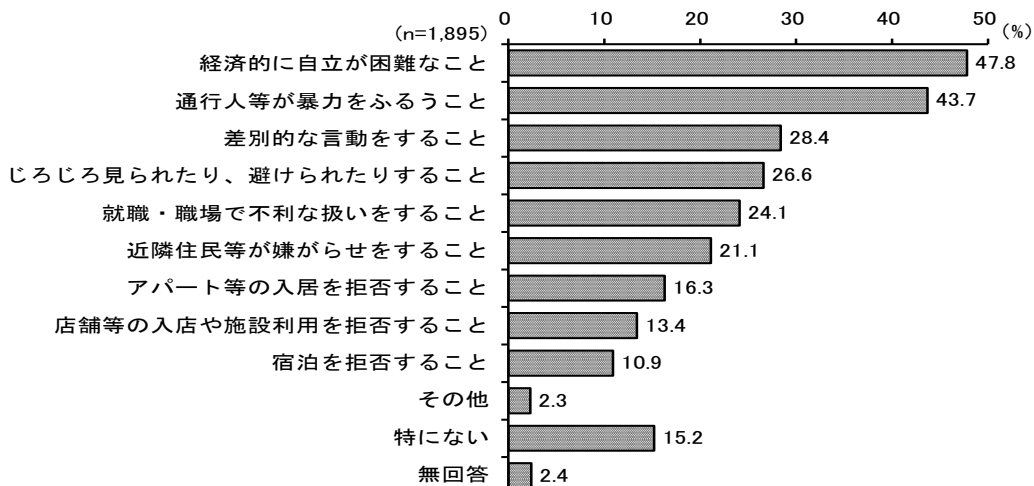


1.5 ホームレスの人権問題

問28. あなたは、ホームレスに関して、人権が尊重されていないと感じるのは、どのような状況に対してですか。(該当するものすべてに○)

【県全域】

ホームレスの人権が尊重されていないと感じる状況は、「経済的に自立が困難なこと」が47.8%で最も高く、次いで、「通行人等が暴力をふるうこと」が43.7%の順となっている。



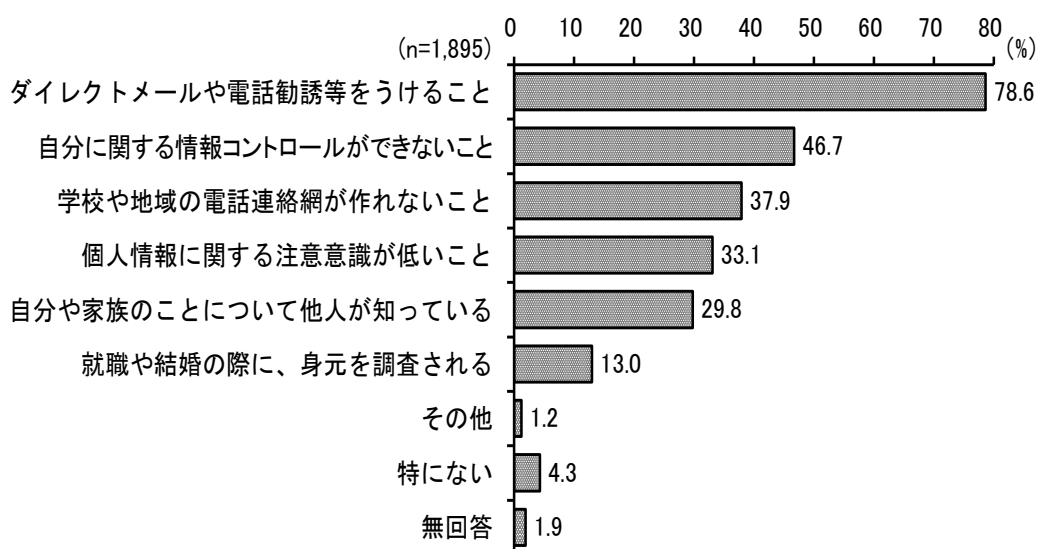
16 プライバシーに関する人権問題

問29. あなたは、プライバシーの保護に関して、どのような問題が考えられますか。

(該当するものすべてに○)

【県全域】

プライバシーの保護に関して問題と思うものを聞いたところ、「知らない企業・団体からダイレクトメールが届いたり、電話勧誘をうけること」が78.6%と最も高く、次いで、「個人情報の流出など自分に関する情報コントロールができないこと」が46.7%、「プライバシー保護を優先することで、学校の電話連絡網や地域の電話連絡網が作れないこと」が37.9%の順となっている。

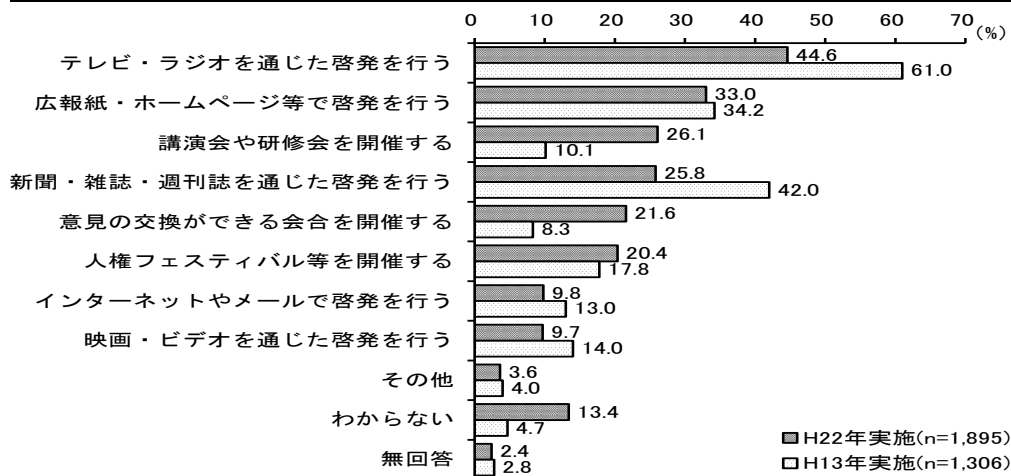


1.7 埼玉県の人権に関する取組

問30. 人権に対する理解を高め、一人ひとりが人権問題を解決していくためには、人権に関する教育や啓発活動が重要と考えられます。あなたは、人権啓発を促進していくには、どのような啓発広報活動が有効だと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

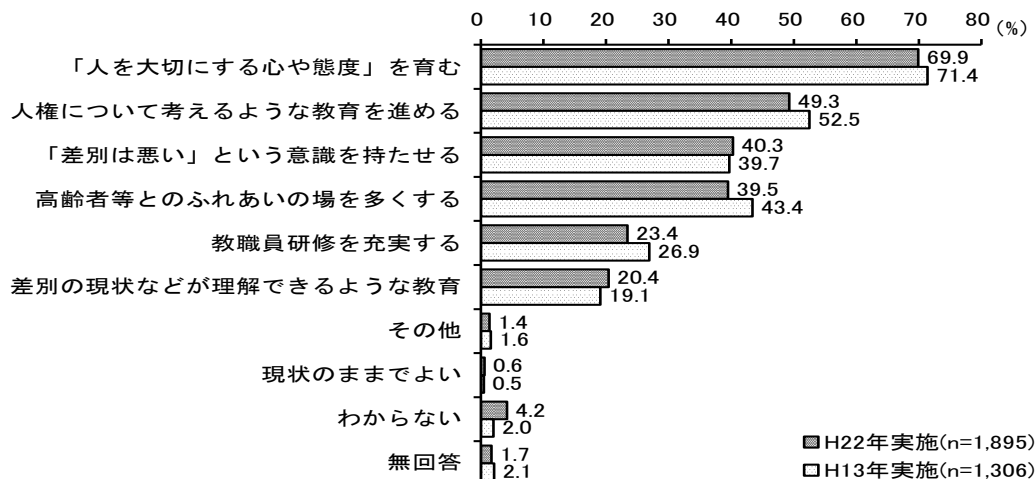
人権啓発を促進していくための有効手段として、「テレビ・ラジオを通じた啓発を行う」が44.6%と最も高く、次いで、「県や市町村の広報紙・ホームページ等による啓発を行う」が33.0%、「講演会や研修会を開催する」が26.1%の順となっている。前回調査と比較すると、「講演会や研修会を開催する」(10.1%→26.1%)が16.0ポイント、「意見の交換ができる会合を開催する」(8.3%→21.6%)が13.3ポイント高くなっている。



問31. あなたは、人権教育を促進していくには、学校においてどのような教育を進めていけばよいと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

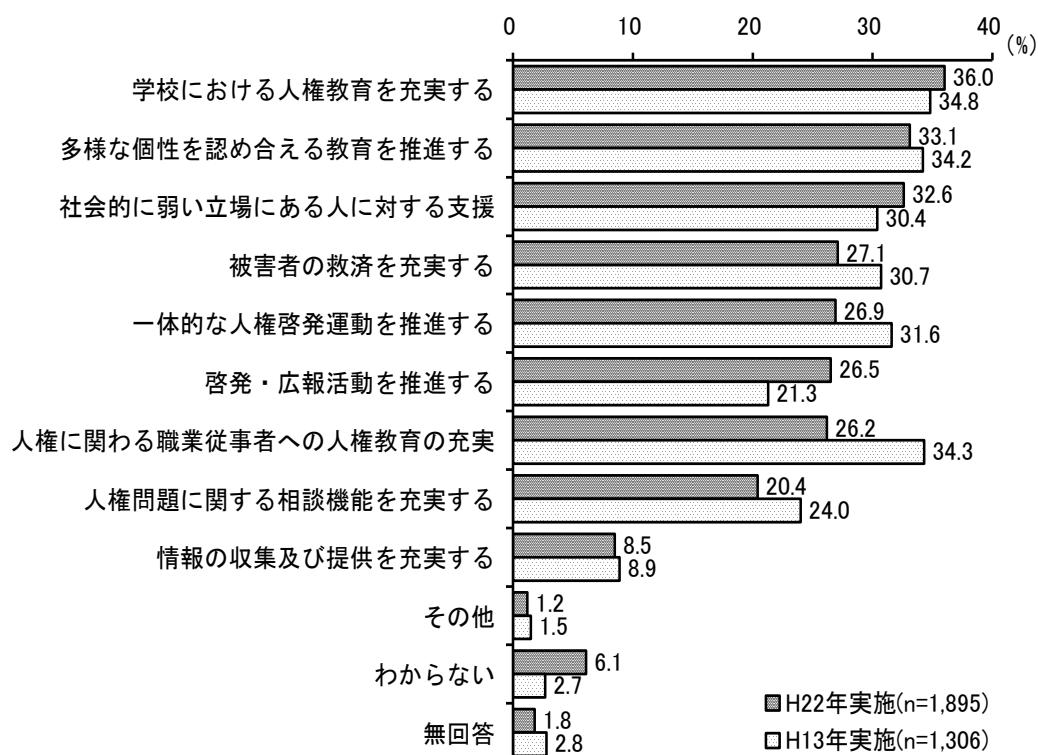
人権教育を促進していくために必要な学校教育は、「人を大切にする心や態度を育むという教育を進める」が69.9%と最も高く、次いで、「すべての児童・生徒が基本的人権について考えるような教育を進める」が49.3%、「差別をするのは悪いことであるという意識を持たせる教育を進める」が40.3%の順となっている。前回調査と同様に、「人を大切にする心や態度を育む」ことが最も高くなっている。

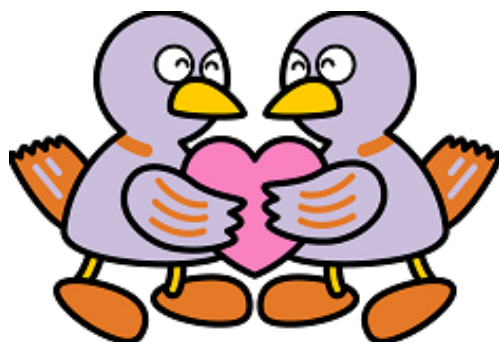


問3 2. あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、今後、埼玉県は、特にどのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

【県全域／前回との比較】

埼玉県の取り組みとして必要なことは、「学校における人権教育を充実する」が36.0%と最も高く、次いで、「幼児の時から、多様な個性を認め合える教育を推進する」が33.1%、「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策を充実する」が32.6%の順となっている。前回調査と比較すると、「啓発・広報活動を推進する」(21.3%→26.5%)が5.2ポイント増加しているが、「人権に関わる職業従事者への人権教育の充実」(34.3%→26.2%)が8.1ポイント減少している。





埼玉県マスコット
コバトン

人権に関する意識調査 概要版

調査主体 : 埼玉県県民生活部人権推進課
さいたま市浦和区高砂3-15-1
電話 : 048-830-2255
調査実施機関 : 株式会社タイム・エージェント
